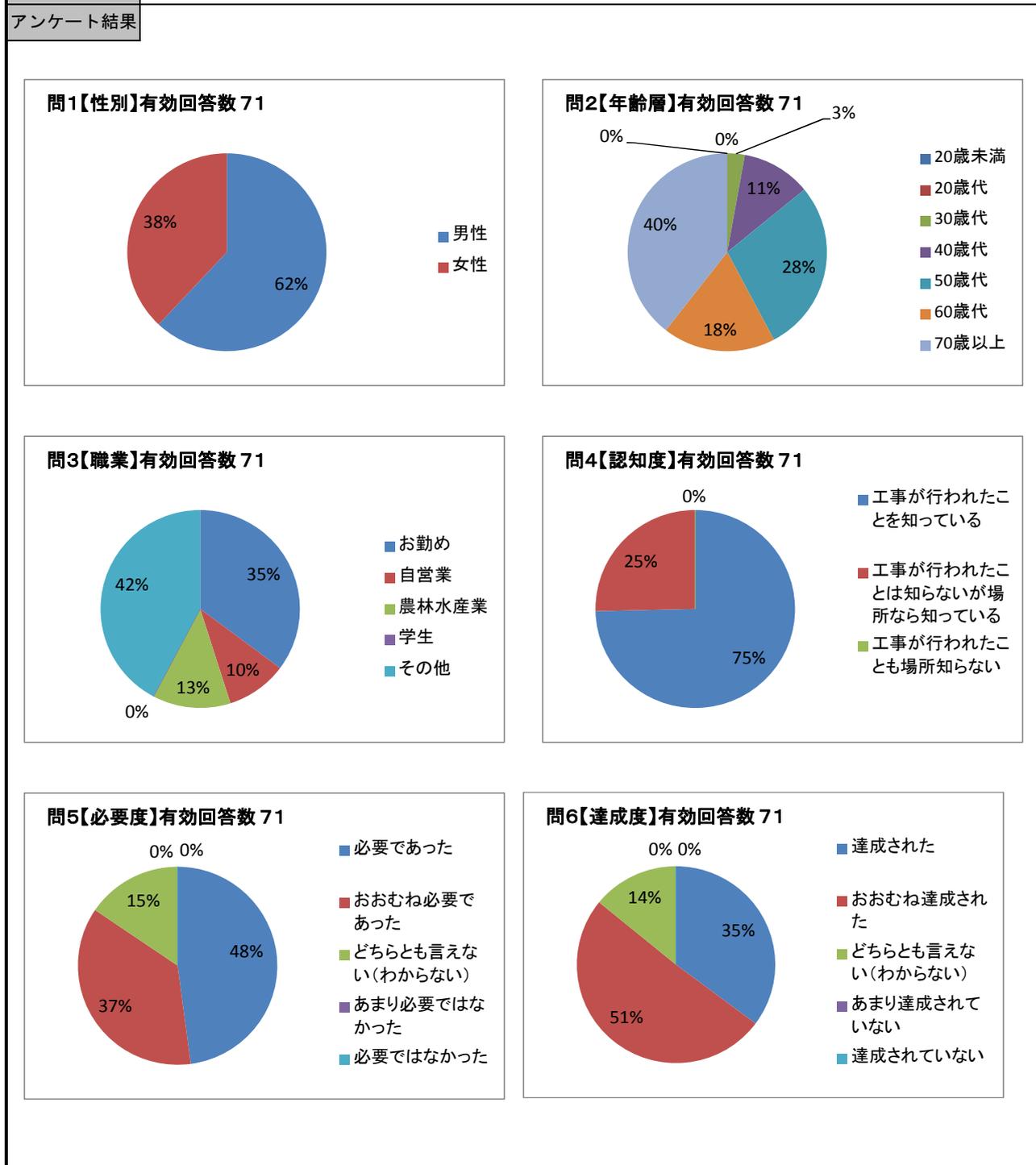


事後評価アンケート結果

整理番号 H26 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	米山（鱒ヶ沢町）
-----	--------	------	----------

アンケート対象	鱒ヶ沢町南浮田町の全世帯をアンケート調査の対象者とする。		
配布方法	鱒ヶ沢町を通じ、町内会の協力を得て、各戸へ配布	(配布部数)	89部
回収方法	町内会長へ直接提出	(回収部数)	71部
回収率	79.78%		



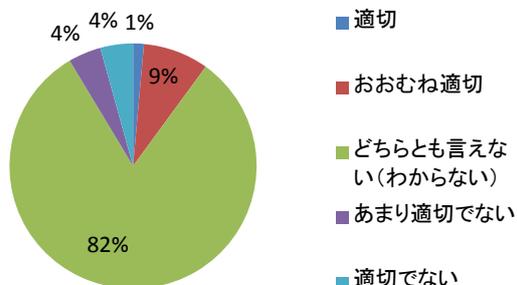
事後評価アンケート結果

整理番号 H26 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	米山（鱒ヶ沢町）
-----	--------	------	----------

アンケート結果

問7【管理状況】有効回答数 70

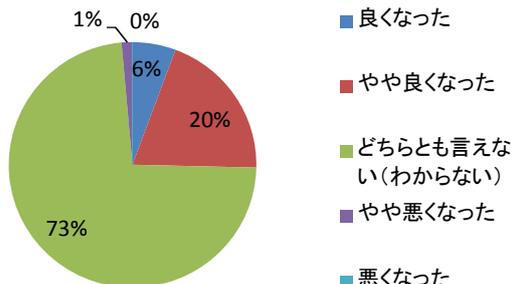


問7【管理状況】

この事業で整備した施設は県が管理しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか。
※大雨や大きな地震が発生した場合は各施設を点検すると共に日頃から異常等のご連絡があれば、状況を調査して必要な措置を行うなど、維持管理や災害復旧を行うこととされています。

- どちらとも言えない(わからない)の理由
 - ・管理の現場を知らない。
 - ・巡視に来た人を見たことがない。
 - ・県で管理しているとは知らなかった。
- 適切でない(あまり適切でない)の理由
 - ・県で管理しているとは知らなかった。
- その他意見
 - ・異常時はどこの誰に連絡すればいいのか？
 - ・定期的に巡視等しているのか？

問8【環境変化】有効回答数 71

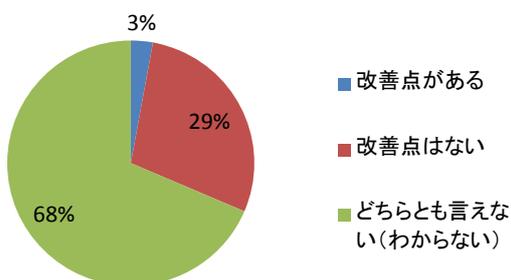


問8【環境変化】

事業実施により、環境の状況は、事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。
※「環境」とは、動植物、森林、河川、海岸などの「自然環境」のほかに、水質や騒音・振動などの「生活環境」、景観や遺産などの「歴史的・文化的環境」も含まれます。

- やや悪くなったの理由
 - ・猿の出没が増えたように感じる。

問9【改善点】有効回答数 70



問9【改善点】

この事業で行った工事や完成した施設について、改善した方がよいと思う点がありますか。

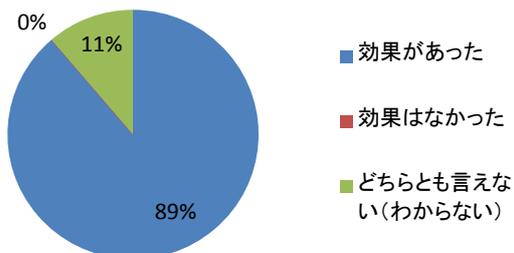
事後評価アンケート結果

整理番号 H26 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	米山（鱒ヶ沢町）
-----	--------	------	----------

アンケート結果

問10【地域全体での防災効果】 有効回答数 71



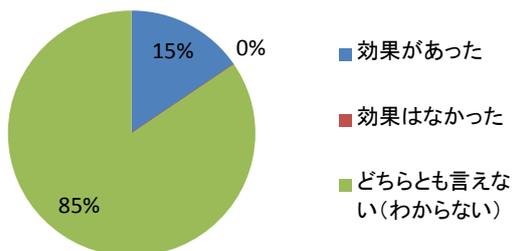
問10【地域全体での防災効果】

この事業を行ったことにより、米山地区を含む南浮田地域の防災に効果があったと思いますか。

■効果があったの理由

- ・土砂災害がなくなった。

問11【その他効果】有効回答数 71



問11【その他効果】

この事業を行ったことが地域住民の防災意識向上に結びついたなど、流域の土砂流出による山地災害を未然に防ぐという「事業目的」に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。

問12【その他意見】

治山事業について、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

問13【その他意見（公共事業全般）】

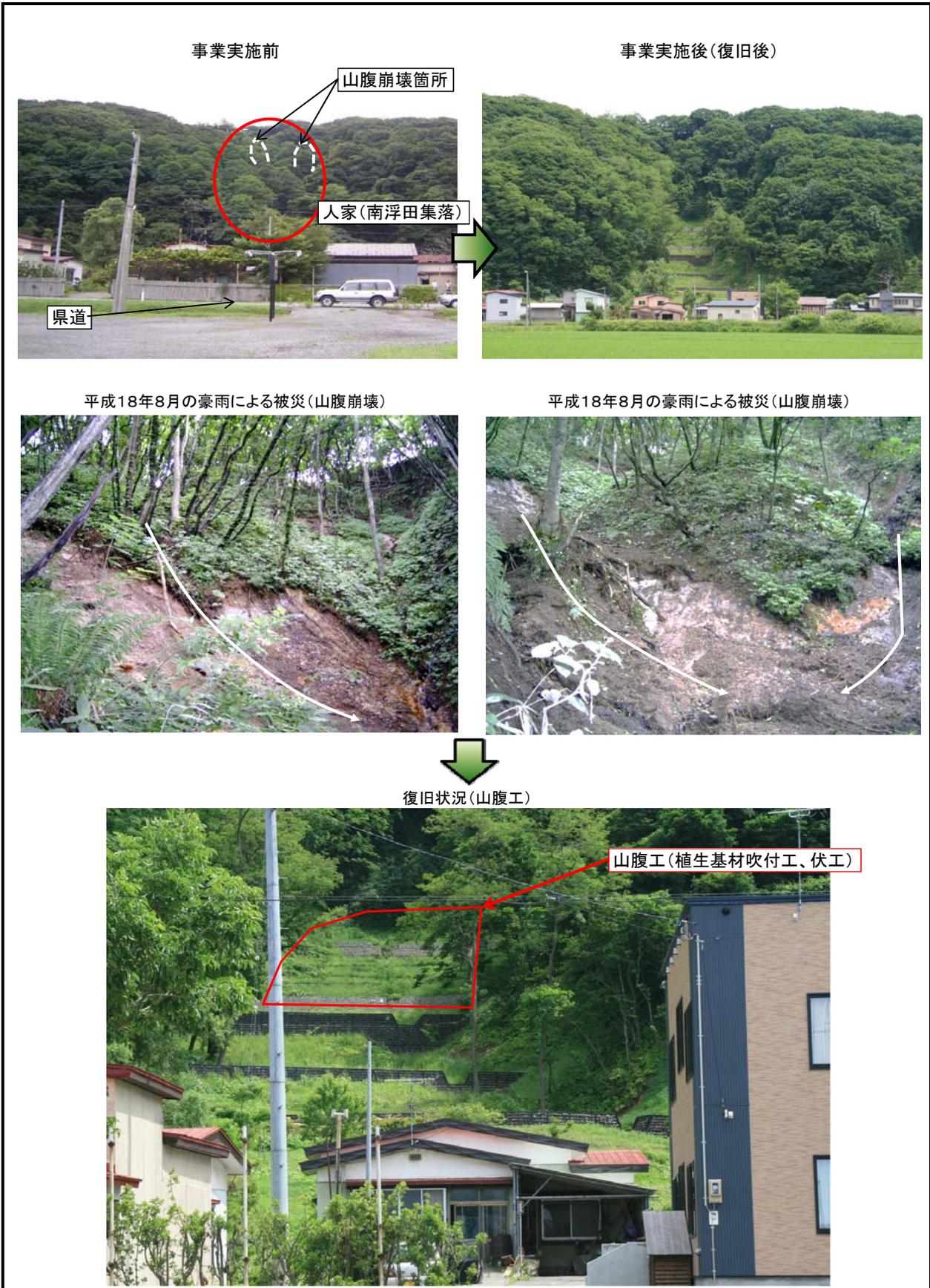
アンケート対象事業以外で、地区で実施を要望する公共事業がございましたら、お聞かせください。

(別紙)

事後評価箇所状況写真

整理番号 H26 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	米山(鯉ヶ沢町)
-----	--------	------	----------



(別紙)

事後評価箇所状況写真

整理番号 H26 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	米山(鯉ヶ沢町)
-----	--------	------	----------

平成18年8月の豪雨による被災(林内土砂堆積)



平成18年8月の豪雨による被災(土砂流出)



平成18年8月の豪雨による被災(土砂流出)



平成18年8月の豪雨による被災(土砂流出)



復旧状況(治山ダム工)



費用対効果分析説明資料

整理番号 H26 - 1

事業名	復旧治山事業	箇所名等	米山(鱒ヶ沢町)
-----	--------	------	----------

【費用対効果の内容】

1 費用対効果の算定根拠

算定の考え方及び算定手法は『林野公共事業における事前評価マニュアル』（平成14年3月林野庁）を参照した。
本マニュアルにおいては、水源涵養便益及び災害防止便益を(B)とし、整備に係る総費用を現在価値に割り引いたものを費用(C)として評価するものである。

2 算定的前提条件

(1) 評価基準年度：平成26年度

(2) 評価期間：53年（事業整備期間3年、耐用年数50年）

(3) 費用及び便益の現在価値：投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化（社会的割引率4%）して用いる。

3 総費用(C)の算定

総費用（現在価値）＝146,026千円

(単位：千円)

区分	事業費	費用(現在価値)	主な内容
(1)本事業	115,144	146,026	事業期間内に本事業で実施する工事費・調査測量設計費等の合計
(2)関連事業	0	0	
合計	0	0	

4 総便益(B)の算定

総便益＝422,834千円

(単位：千円)

区分	事業費	主な内容
(1)水源涵養効果	13,745	森林の状態が良好に保たれる（荒廃地が緑化復旧される）ことで洪水防止等が図られる効果
(2)災害防止効果	409,089	山腹崩壊や土石流等の山地災害による人家や公共施設（県道）等への被害を防止する効果
合計	422,834	

5 費用対効果分析の結果

B（総便益）／C（総費用）＝ 422,834千円 / 146,026千円＝ 2.90

【参考】

H18評価B/Cからの変更点

区分	主な項目	H18年（事前評価）	H26年（事後評価）	増減
費用項目 (C)	(1)本事業	82,000千円	115,144千円	33,144千円
	(2)関連事業	0千円	0千円	0千円
	総事業費	82,000千円	115,144千円	33,144千円
	総費用（現在価値）	78,683千円	146,026千円	67,343千円
便益項目 (B)	(1)水源涵養効果	9,300千円	13,745千円	4,445千円
	(2)災害防止効果	300,934千円	409,089千円	108,155千円
				0千円
	総便益	310,234千円	422,834千円	112,600千円
B/C		3.94	2.90	